

未来の救急科医へ

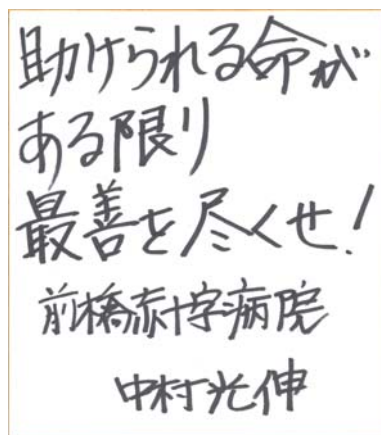
～医師が救急医学を学ぶ意義とは～

講演者：前橋赤十字病院 高度救命救急センター
センター長 兼 集中治療科・救急科部長

中村 光伸 医師

市谷校舎では、前橋赤十字病院高度救命救急センターで活躍されている中村光伸医師をお招きして、『未来の救急科医へ』をテーマに第1回医系特別講演会を実施しました。ドクターヘリのフライトドクターでもある中村先生は、東日本大震災や熊本地震、西日本豪雨災害時等に救護班として活動されています。

講演では救急科医としてのご経験だけでなく、ご自身の医学生時代や脳外科医時代のエピソードなども交え、医師としての心構えや医師という仕事の魅力についてお話しくださいました。参加者にとって、医師のやりがいや楽しさを知り、学習への意欲を高めることのできる貴重な講演となりました。



講演受講者から寄せられたメッセージを、一部抜粋で紹介します。

- ・将来、救急科医を志望しているので、非常に参考になりモチベーションの向上につながりました。中村先生のお話を伺い、自分自身の理想の医師像を想像するとともに今しっかりと頑張らねばならないと強く思いました。
- ・実際の医療現場に携わっている方から直接話を聞く機会が得られて非常に嬉しかったです。
- ・救急のみならず、「医師」としての考えがうかがえたのがよかったです。
- ・東日本大震災の現場の映像を見て救急医療の現実を知り、心にくるものがありました。
- ・地域医療にあまり関心がありませんでしたが、「支える医療」という言葉に非常に胸を打たれました。
- ・ドクターコールに名乗り出る人の割合を聞いて、とても驚きました。自分が医師になった際は、専門分野だけでなく救急医療の知識も身につけて、様々な場面に対応できるようになりたいと思いました。

■実施日：2019年6月8日(土) 14:00～16:00

■会場：駿台予備学校 市谷校舎(医学部専門校舎)

*市谷校舎では、9月以降も校内生を対象にした医系講演会を実施いたします。